

第8回 “ひめゆり” を伝える映像コンテスト



結果発表

ひめゆり映像賞

那覇市立大道小学校6年生

賞金 **10** 万円

「過去を知り、未来を創る。—— 平和を『自分事』へ」
戦後80年



■テーマ **ひめゆりと戦後80年の今 私たちができること**
学校の片隅にある彫刻「二輪の百合」（ひめゆりの学校跡碑）を起点に、地域の歴史に関心を持ち、学び、「平和って何ですか」と問い直し、芽生えた思いを歌などで表現した作品。

■受賞理由

身近な記念碑に目を向け、足元から平和を考える視点が評価された。構成やカメラワークなどに課題はあるが、地元の歴史に関心を広げながら、ひめゆりの話に戻ってくる構成や、子どもたちの歌声でつなぐ印象的な演出が高く評価された。



特別賞

ひめゆりと私が紡ぐ未来

沖縄県立豊見城南高等学校
美術（写真）部

賞金 **3** 万円



■テーマ **ひめゆりと私が紡ぐ未来**

戦争を経験していない高校生が、ひめゆりや沖縄戦について知るために戦跡を巡り、学んだこと、感じたことを表現した作品。

■受賞理由

ひめゆり関連の戦跡を、普段はあまり人が訪れない場所も含めて実際に歩き、丁寧に取材して感じたことを率直に表現する姿勢に好感が持てる。一方で、映像の画質のばらつきや音声など技術面に課題がみられた。



総評 一第8回 “ひめゆり” を伝える映像コンテスト を終えて

今回も、ドキュメンタリー、朗読、アニメ、ドラマと多様なジャンルの作品が集まりました。戦後80年の節目で学校団体からの応募が多く、AIを活用した作品も見られました。現地取材や身近な出来事から平和や歴史を考えたものや、制作者自身の思いや気づきを感じられたものなどが印象的でした。一方、資料や情報の紹介にとどまってしまった作品やもう少し深掘りしてほしい作品もありました。次回も多様な内容、ジャンルの作品を期待しています。

■選考委員 仲松昌次（フリーディレクター）、宮平貴子（映画監督、株式会社ククルビジョン代表）
諸見里杉子（ナレーター、朗読者） ※五十音順、敬称略

“ひめゆり” を伝える映像コンテスト

ひめゆりをテーマにした映像作品を募集するコンテスト。ドキュメンタリー、アニメ、ダンス、歌、パフォーマンスなどジャンルを問わない多様な作品を募集しています。映像制作を通して沖縄戦やひめゆりについて学び、平和について考える機会にしてほしいと、2018年に始まりました。年齢、性別、個人/団体、プロアマ問わず、どなたでも応募可能です。



ひめゆり
平和研究所



ひめゆり
平和記念資料館